

 <p>開校明治七年 開校151周年</p>	<h1>大和田小だより</h1> <p>学校教育目標 かしこく やさしく がんばる子</p>	<p>めざす学校像 きびきび・にこにこ・すらすら・はきはき ～わかる・できる・楽しいを実感できる大和田小学校～</p>	<p>春休みの生活目標 進学・進級の準備をしよう</p> <ul style="list-style-type: none"> ・学用品を整えよう ・規則正しい生活をしよう
		<p>年度末号 令和8年3月26日 新座市立大和田小学校 児童数 689名・学級数 25学級</p>	
<p>歴史と伝統の学校として、開校151年目も元気にスタート。</p>			

児童の成長を見届けてくださる皆様に感謝！

校長 戸高 正弘

渋沢 栄一翁から学ぶウェルビーイング

埼玉の三偉人であり、一万円の肖像画の渋沢栄一翁は、子供のころから母親に「いいかい栄一、あんただけがうれしいんじゃないかと、みんながうれしいのが一番」と言われて育ったそうです。そしてその母の教えが考え方のベースとなり、500を超える企業の創設に携わり、社会公共事業や福祉・教育機関の支援に取り組み、社会格差をなくすために公共事業にも力を入れました。



こういった取組が今もなお引き継がれ、今の時代のSDGsやウェルビーイングの考えをいち早く取り入れた素晴らしい功績であると感じます。

彼は、「一人一人に天の使命があり、その天命を楽しんで生きることが処世上の第一要件である。」と述べています。人それぞれが、その使命を全うするために与えられた場所で輝き、成長していく。そういう人の集まりこそ理想とする社会であると教えてくれているのではないかと考えます。

大和田小学校においても、児童や教職員はもちろんのこと、保護者、地域の皆様が、それぞれの場所でお力を発揮して下さっているお姿に、本当に感動しました。

令和7年度の一年間が終了しました。本年度も教育活動の支援にPTA役員の皆様をはじめ多くの保護者、地域の方々からの様々なご支援に感謝申し上げます。

今後も歴史と伝統のあるウェルビーイングの大和田小学校を目指して頑張っていきたいと決意を新たにしました。

卒業証書授与式

24日朝、門出の会を行い、下級生に温かく見送られ、6年生児童は卒業証書授与式に臨みました。一人一人が自分で考えて姿勢よく歩き、真っ直ぐに立ち、自信と誇りに満ちあふれていました。心も体も立派に成長して堂々と卒業証書を受け取る姿に、大変感動しました。保護者や地域の皆様に、



門出の会の様子

その姿をご覧いただくことができ、大変うれしく思います。私からは、はなむけの言葉として、式辞の中で次のような話をしました。

小学校で共に過ごしてきた6年間は「いのちの歌」の歌詞にあるように、「この星の片隅でめぐり会えた奇跡」であり、「どんな宝石よりもたいせつな宝物」です。

作者の竹内まりやさんは、この歌に「生きているということは、生かされていること」というメッセージを込めています。支えてくれた家族、友達、先生たち、そしてこの命に感謝すること。

小学校で得た温かい繋がりや自信を胸に、未来へ向かって希望に満ちた一歩を踏み出してください。皆さんの人生が、感謝と喜びに満ちた豊かな「いのちの歌」になることを心から願っています。



新年度も教職員一同、児童の健やかな成長を願い、教育活動を進めてまいります。一年間のご支援、ご協力、誠にありがとうございました。